



## 被災地復興に太陽光発電システムが大活躍。

2009年8月8日、古くから養殖業が営まれていた台湾南部の屏東（ピンドン）地域は台風による水害に見舞われました。

この水害によって養殖場は甚大な被害を受け、多くの人々が生活の糧を失い、復興支援策が求められていました。

そこで **△P.LLo** は、自治体や周辺の住民の方々とともに、被害にあった養殖場を太陽光発電システム設置用地として再活用するプロジェクトを開始。太陽光発電システムを養殖場の跡地に設置することで、売電収入が得られるようになりました。

また、養殖業から発電事業に転換することで地盤沈下を食い止め、

なおかつ CO<sub>2</sub> 排出量の削減にもつながります。

**△P.LLo** はこれからも、地域のお客様とともに、よりよい環境づくりに貢献していきます。



屏東

## 被災地復興までの軌跡

1



台湾南部の屏東地域は区画整備された養殖場で、地元住民の多くが養殖業を営っていました。

2



2009年8月8日の大きな台風によって、泥やゴミ、流木が流れ着き、水質が悪くなるなどの甚大な被害を受けました。

3



2010年5月、正式に養殖場跡地を太陽光システムとして再活用するプロジェクトがスタート。この活動は地元メディアにも大きく取り上げられました。



太陽光発電システムを水上に設置することで冷却効果も得られ、発電効率の向上が期待されています。

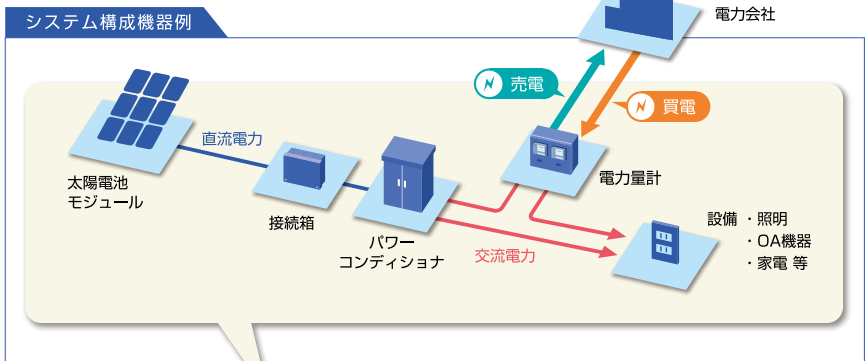
## 太陽光発電のしくみ

太陽光発電システムを導入することで、光熱費をおさえ、地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>(温室効果ガス)の排出量を削減できます。



### ● 電力を売ろう！ 電力の買取制度

規定により、発電した電力は電力会社に売ることができます。(売電)  
 平成21年11月1日より「太陽光発電の新たな買取制度」が開始されました。  
 買取価格は、設置された年度によって異なります。  
 詳しくは販売店にお問い合わせください。



## 製造プロセス

原料の調達から製造、施工まで自社で一貫した工程管理を行うことで、高品質と優れたコストパフォーマンスを実現しました。





# Products

産業用から住宅用など、さまざまな太陽光発電システムに対応する太陽電池モジュールをラインナップ。各使用部材にこだわり、厳しい製品検査を実施した高品質の製品をご提供します。また、長く、安心してお使いいただく為に製品保証もご用意しています。

## 優れた防水性・防じん性

端子箱はIP65、コネクタはIP55と防水性・防塵性に富んでいます。

## 熱を吸収しにくい ホワイトバックシート

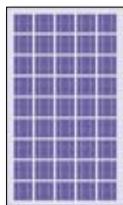
太陽電池は熱に弱い性質を持つため、熱を吸収しにくいバックシートを採用しています。

## 錆につよい

フレーム部のアルミニウムは陽極酸化処理されています。



## 製品紹介



### BIPVタイプモジュール

**NEW**

#### 建物のデザインにフィットする建材一体型

	KAP-130-35BIPV	KAP-170-45BIPV
公称最大出力±5%	130W	170W
公称開放電圧	21.14V	27.09V
公称短絡電流	7.89A	8.12A
公称最大出力動作電圧	17.46V	22.32V
公称最大出力動作電流	7.45A	7.62A
モジュール寸法	1,353×986×10mm	1,669×986×10mm
セル数	35枚	45枚

#### ■ BIPVとは・・・

BIPV (Building Integrated Photovoltaic Module) とは建材一体型として、建築材料の機能を担っている太陽電池モジュールです。ビルの壁面や、天窗・キャノピーなど、建物の様々な箇所に設置可能で、光の透過をするため採光も可能です。建物のデザインを壊さずにベストフィットします。



### コンパクトタイプモジュール



#### 高効率の太陽電池を採用

	KAP-180	KAP-185	KAP-190
公称最大出力±5%	180W	185W	190W
公称開放電圧	28.79V	28.98V	29.16V
公称短絡電流	8.07A	8.17A	8.26A
公称最大出力動作電圧	23.9V	24.13V	24.41V
公称最大出力動作電流	7.54A	7.64A	7.74A
モジュール効率	13.5%	13.9%	14.3%
モジュール重量	15.5kg		
モジュール寸法	1,353×986×40mm		
セル数	48枚		



### スタンダードタイプモジュール



#### コストパフォーマンスに優れたスタンダードタイプ

	KAP-220	KAP-225	KAP-230
公称最大出力±5%	220W	225W	230W
公称開放電圧	35.63V	35.99V	36.22V
公称短絡電流	7.97A	8.07A	8.17A
公称最大出力動作電圧	29.58V	29.87V	30.16V
公称最大出力動作電流	7.43A	7.54A	7.64A
モジュール効率	13.4%	13.7%	14.0%
モジュール重量	19.4kg		
モジュール寸法	1,669×986×40mm		
セル数	60枚		



太陽電池モジュールの出力がJIS C8918で規定する条件下において以下の場合、出力保証いたします。

- 10年間で公称最大出力の90%を下回った場合
- 20年間で公称最大出力の80%を下回った場合

\*モジュール変換効率はモジュール公称最大出力 (W) × 100 ÷ モジュール面積 (m<sup>2</sup>) × 1000 (W/m<sup>2</sup>) の計算式から算出しております。  
\*公称最大出力の数値は、JIS C 8918 で規定する AM1.5 放射照度 1,000 / m<sup>2</sup>、モジュール温度 25 度での値です。  
\*製品のご使用にあたっては取扱説明書の注意事項を遵守して下さい。



# Speedy & Polite

お客様のご要望に合わせ、ご相談から施工、アフターフォローまで提案・サポート致します。

## メンテナンスについて

太陽光発電システムは、日常的な目視点検や発電モニタによる小まめな発電量確認、また太陽電池モジュール上の汚れなどを清掃することで、より長く安心してお使いいただけます。(日常点検)  
また、保守規定に基づき、有資格者による定期点検も必要です。  
太陽光発電システムの構成機器の目視、またはテスター等の計測器を使用し検査を行います。

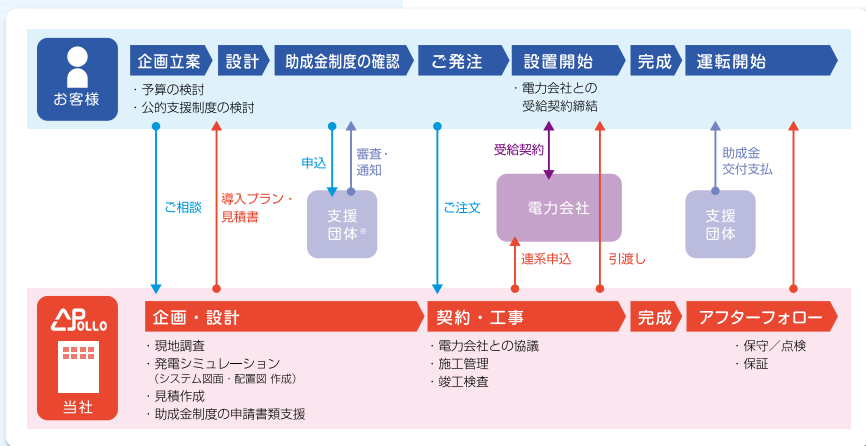


## 導入事例 台湾電力 金門発電所の場合

発電所を設計するにあたり、太陽電池モジュールの効果的な配置、太陽電池モジュールから電気室までの距離を考慮した電線の選定、電気周辺機器の緻密な設計により、損失の少ないシステムを構築いたしました。

システム PR 値が **87.6%**  
世界最高レベルの

※PR (System Performance Ratio)・・・システム出力係数の意。影の影響、パワーコンディショナ、電線など全ての損失を差し引いたシステム全体の効率。地域や設置環境によるが、通常 80～80%。



※ 設置費用の一部を補助する公的補助制度が受けられる場合があります。くわしくは販売店にお問い合わせください。